

私立学校の振興について

各私立学校の建学の精神や特徴など

都道府県別 私立中学校及び高校の生徒の割合

私立学校の振興に向けた取組

【参考資料】私立高等学校授業料の実質無償化

県教育委員会・公立学校と私立学校の連携状況

各私立学校の建学の精神や特徴など

学校名(R3.5.1児童・生徒数) (法人名)	認可年月日	設立の経緯	建学の精神 (教育理念)	学校の特徴
高知高等学校(569) 高知中学校(345) 高知小学校(321) (高知学園)	S23. 3.31 S23. 3.31 S31. 12.26	明治32年4月、高知市中新町に江陽学舎創立(創立者 信清権馬先生)、昭和32年3月に川島源司先生により、現在地の旭ヶ丘に移転。	高知学園の教育の象徴である「世界の鐘」の呼びかける平和と友愛の精神の下、建学の精神である「人に信頼される人材の育成」を具現化するため、五つの教育目標(・たくましい心とからだ・確かな基礎学力・豊かな情操・信頼される人間・自立)及び学校生活の三原則(・正しい身なり・掃除の徹底・挨拶の励行)を掲げ、「文武両道」・「文武不岐」を実現する。	高知学園は、幼稚園から大学までの7つの学校からなる総合学園であり、学園大、リ八大、学園短大と教育連携を推進し、地元で活躍する人材の育成に取り組んでいる。一方において、保護者の学費負担軽減を図るため、特に義務教育課程での公的修学支援制度の充実が求められる。
土佐高等学校(890) 土佐中学校(764) (土佐高等学校)	S23. 3.31 T 9. 2.24	大正9年、土佐からの人材輩出を願って、旧制土佐中学校として創立。当初は男子のみの少数精鋭の英才教育を持ってその使命としてきた。	「報恩感謝」の理念のもと、創立当初から築かれてきた、学問を重んじ、礼節をたっとび、スポーツを愛する校風が受け継がれている。全ての面で高いレベルを目指す活動を通して、人格の完成と社会に貢献できる人物の育成を目指している。	教科学習・部活動・学校行事など多方面にわたって、生徒が自主的・自律的に取り組むことを重んじることで、社会の各分野で他者と連携しつつ活躍・貢献できる人物を輩出している。諸般の状況から、こうした主体的な活動が困難になりつつあり、いかに維持・発展させていくかが最大の課題となっている。
土佐女子高等学校(527) 土佐女子中学校(422) (土佐女子高等学校)	S23. 3.31 M35. 3.26	全国に比して立ちおくれた高知県の女子教育を振興するとともに、県下女子教育機関の不足を補おうという見識のもと、前田松寿女史が小学校裁縫科の専科教員免許状を得、裁縫手芸を主とする女学校の設立を志した。それに高知県主席属北村浩、高知県視学池田永馬の二氏が高等女学校風にするがよいと助言し、私立高知女学校として高知市升形に設立された。	「真の教育は私学において行われる」の信念の下、健康な心身、充実した気力、国際感覚と創造性豊かな女性を育成すべく日々努力を重ねている。 教育目標:「 <u>明朗、聡明、愛情、気品</u> 」	土佐女子独自の女子教育を通して多様化する時代にも通用する人間力を養う。日本伝統の作法を学び、場に応じた美しい立ち居振る舞いや作法を体得し、女性としての品格を高める。
清和女子高等学校(88) 清和女子中学校(37) (清和学園)	S28. 2.25 S40. 1.30	120年前に米国の宣教師によって設立され、キリスト教を土台に女性教育を行う学校として出発。	キリスト教の精神に基づき、人を「集団」ではなく「個」で受けとめ、「能力」ではなく「存在」を大切にすることを中心に女性教育に取り組む。 建学の精神:「心の清い人々は、幸いである。平和を実現する人々は幸いである」	設立の経過からも、グローバルより地域社会に貢献できるグローバルな人を育てたいと願っている。そのために小人教教育による自己肯定感を育むことを大切にしてきた。
高知学芸高等学校(784) 高知学芸中学校(777) (高知学芸高等学校)	S32. 2.12 S34. 11.27	附属中学校関係者を中心とした高知大学教育学部附属高等学校設立の運動に端を発す。当時の制度上、附属高校から私立高等学校創立へと方向転換して設立。	戦後の混乱の余波が残るなか、「一人ひとりが落ち着いて勉強できる平和な学校を」「日本再建の力となれる人材を養う学校を」との思いを持って創立。 「生徒本位・不断の向上・基礎学力を養う・全人教育・男女共学・しつけの重視・奨学の施設」を基本姿勢とし、しつけの要点として「やさしい人になるように」「開けた人になるように」「正しい人になるように」「働く人になるように」を掲げ教育活動を行っている。	高い大学進学実績をはじめ、近年は国際生物学オリンピックなどの日本代表を複数名輩出するなどサイエンス分野での活躍がある。また、中学では「こども県展」の知事賞常連校として芸術分野での実績もあげている。新しい学力観への対応について、課題研究という探究活動に中高一貫で取り組んでおり個々の生徒が主体的で根気強い学びの姿勢を身に着けることをねらいとしている。

学校名(R3.5.1児童・生徒数) (法人名)	認可年月日	設立の経緯	建学の精神 (教育理念)	学校の特徴
高知中央高等学校(1027) (高知中央高等学校)	S37.12.21	教育が知育偏重に傾斜していく中で、その多様性を重視し、豊かな人間性の涵養を基本に、個性を尊重し、実学を加味した教育を目指して設立。	「 自主独立 」の教育理念のもと 1.文武両道の精神を尊び、徳・知・体・技を備えた人材の育成を目指す。 2.精神教育と情操教育を重んじ、豊かな人間性を養う。 3.自由と規律の中で生徒一人ひとりの個性を活かす教育を行う。 4.人間としての自立を促す教育を実践する。	様々な部活動が全国の舞台上で活躍している。また、看護学科では、入学時に県内外の約30施設の病院へ就職が内定する 病院委託奨学生制度 があり、看護学科の9割以上の学生がこの制度を活用している。振り付けから、歌、衣装まで生徒が考え参加している「よさこい祭り」や、登校してから下校時間まで仮装で過ごす「ハロウィン」など、 中央高校ならではのイベント も多い。
明德義塾高等学校(668) 明德義塾中学校(182) (明德義塾)	S51. 4. 1 S47.12.28	創立者の吉田幸雄先生は塾教育を経て、昭和48年4月に全寮制、全国募集、男女共学の明德中学校を開校し、昭和51年4月に明德高校を開校した。	「徳・体・知」三位一体の情理円満な人格の育成。一般的に言われる「知・徳・体」と順番が違うのは、何よりもまず「徳」を大切にしているから。大いなる自然への畏敬の念やそこから生まれる感謝、思いやりの心など、豊かな人格形成の上に「体」と「知」を育むと共に国際的な視野を持つ人格の育成を目指している。	中高一貫の利点を活かしたカリキュラム、全生徒が参加する 全員クラブ制 、 中高・男女共学の全寮制(一部通学可) の特色がある。教職員が生徒と同じ敷地内に居住する 子弟同行の寮教育 では、教員住宅に生徒を招き、学校から生活上のことまで相談にのれる体制を整えている。毎日の朝礼では、国旗・校旗・国連旗の掲揚を行い、祖国の繁栄と世界の平和を祈念し、朝夕礼においては、大自然と各自の郷里に向かって遥拝をして、感謝の心を育むなどの特色がある。 甲子園への出場回数やスポーツ界(野球、サッカー、ゴルフ、相撲など)への人材輩出による知名度の高さは随一。
土佐塾高等学校(499) 土佐塾中学校(512) (土佐塾学園)	S62. 2. 2 S62. 2. 2	智育のみならず徳育、美育、体育に互る 全人教育を実現せんとするものである。	智育(決して知育ではない)については効率的カリキュラムにより無駄を省き、全国最高のレベルを実現する。 徳育 については思い遣る心を重視。人の痛みがわかる人を育てたい。己の欲せざるところを他に施さず、これが基本であると考え。個性、創造性を伸ばす教育こそが大切である。独立自尊、進取の精神を養うことを旨とする。 美育 、芸術を愛し、文化を高める教養人となる素地を作りたい。従ってこれ等は学科以外の部活動をも盛んにして充実させて行かねばならぬと考える。 体育 、ものごとを成し遂げるためには健全なる身体こそが必要である。従って、体育実技を重視し、部活動を活発にして心身ともに健全なる生徒を養成する。	学校の特徴 1.生徒たちの第一志望の進路を保証するために 少人数編制、習熟度別編制、質問添削による徹底指導 をしている。 2.本校で学んだことが評価される 人づくり を基本に、 新しい国際化(留学・英語教育)、情報化(ICT教育)の時代に相応しい魅力ある教育 を実践している。特に、ICT教育は県下で最初にタブレット端末を全学年に導入し、コロナ禍の中で臨時休業時もオンライン授業を行い「学び」を止めることなく授業を行った。また、駿台教育研究所(締結)の優れた教育コンテンツを学校でも自宅でもシームレスに受け取ることが可能。 学校の課題 1.教員の更なる教科指導力の向上に向けた取り組み 2.少子化の中、生徒数増に向けた取り組み

学校名(R3.5.1児童・生徒数) (法人名)	認可年月日	設立の経緯	建学の精神 (教育理念)	学校の特徴
太平洋学園(435) (太平洋学園)	S40.10. 2	昭和21年高知市桜井町に高知女子専門学園を開校	太平洋学園高等学校は、 高知県内の私立学校では唯一の定時制課程・通信制課程を併置する単位制総合学科の高等学校 「いつでもどこでもたくましく生きる力を身に付けた人材の育成」を教育目標として、1人ひとりの生徒の進路実現に向けて取り組んでいる。	平成16年度より人権教育を柱に 特別支援教育 に積極的に取り組んできた。 そして、平成24年度よりは自校のビジョンとミッションを明確にして、教職員のベクトルをそろえることに努め、チーム学校としての支援体制の強化・充実に努めてきた。 その結果、入学志願者の急増により、生徒数が増加傾向にある。しかし、それに比例して生徒だけでなく保護者も支援の必要なケースが増加しており、医療・福祉等、他分野との連携が今まで以上に必要となってきた。 - ビジョン 「学習空白や学習障害のある生徒に対しても解る授業を実践し確かな学力を保障すると共に、全ての教育活動を通して社会に出て自立していくための社会性の育成に努め、自己肯定感を高め、全ての生徒の進路を保障できる学校を目指す」 ミッション 「問題行動や不登校(心身症・精神疾患・発達障害等、個別的な支援を必要とする生徒)等、多様な支援を必要とする生徒も、受け入れた生徒は卒業まで1人ひとりの人間性を尊重し大切に育て、基礎学力の定着と向上をはかると共にコミュニケーション力の育成に努める学校」
とさ自由学校(63) (日吉学園)	H31. 3.1	「とさ自由学校」では、人間本来が持っている自分自身で学び育っていく力を信じ、子どもたち一人ひとりが主役となる学校を創っていきます。	個性と多様性が大切にされ、自己決定が尊重され、自らやりたいことを決め、実践することができる環境を整えていく。 子どもと関わる大人は先生ではなく、 子どもと共に育ち合い、伴走者 として子どもの傍に在る存在として共に信頼し合える教育を目指す。	高知県の豊かな川・森・海を学びの場として、友人や地域の方、自然に対して愛情をもって接し、感謝の念を有することで、相手の気持ちや、事物への想像力、共感性を育む。 自然での体験活動を礎とした実践学習 のもと、子どもたちの健やかな育ちを支援していく。 とさ自由学校に通うために、全国各地や海外(帰国子女)から全校児童の3分の1近くが 高知県へ移住 してきており、高知県の 社会や経済への波及効果も生み出している 。
特別支援学校 光の村土佐自然学園 高等部(20) 特別支援学校 光の村土佐自然学園 中学部(8) (光の村学園)	S44.4. 1 S58. 3.28	昭和44年 光の村養護学校設立	光の村学園は、多様化する現在の知的障害の子供たちの教育を、次の4つの柱で構成し、中、高、専攻科の一貫教育でそれぞれをステップアップし積み上げていく。 1,暮らしの質を変える (生活教育) 2,体の質を変える (体育教育) 3,手の質を変える (作業教育) 4,ことばの質を変える (教科教育)	知的な発達に障害のある生徒が社会的な自立をめざして学ぶ 私立の特別支援学校 です。 中学部から専攻科まで8年間学ぶことが出来る 。 一般販売する商品を生産できる 本格的な校内実習場(製パン、せんべい、和洋菓子、木工、竹割り箸、紙箱、文旦園) を完備している。 50年を超える歴史と実績を生かし、生徒一人ひとりに寄り添って、可能性を最大限に引き出す。 特別支援学校のため、生徒数に対して必要な職員数が多い。更に全寮制であるため、寮職員も必要。生徒一人に対しての補助金はあるが、寮に関する補助金はないので、経営的にも難しい状況が続いている。

都道府県別 私立中学校及び高校の生徒の割合

(「令和3年度学校基本調査(速報)」より)

(中学校)

	都道府県	全体	私立	私立/全体
1	東京	311,049	78,474	25.23%
2	高知	16,989	3,040	17.89%
3	京都	65,187	8,745	13.42%
4	奈良	35,963	4,594	12.77%
5	神奈川	226,599	24,872	10.98%
6	広島	75,326	7,650	10.16%
7	大阪	221,610	21,605	9.75%
8	和歌山	23,677	2,180	9.21%
9	兵庫	143,075	12,469	8.72%
10	宮崎	30,563	2,102	6.88%
11	千葉	158,265	10,454	6.61%
12	佐賀	23,530	1,324	5.63%
13	山梨	20,955	1,120	5.34%
14	長崎	35,794	1,909	5.33%
15	福岡	139,657	7,353	5.27%
16	静岡	98,192	5,155	5.25%
17	埼玉	187,395	9,747	5.20%
18	茨城	72,465	3,519	4.86%
19	愛知	209,151	9,943	4.75%
20	岡山	50,820	2,384	4.69%
21	沖縄	49,708	2,286	4.60%
22	三重	47,567	2,080	4.37%
23	鹿児島	45,294	1,888	4.17%
24	滋賀	41,086	1,608	3.91%
25	香川	25,629	945	3.69%
26	山口	33,723	1,090	3.23%
27	愛媛	33,330	997	2.99%
28	熊本	48,862	1,454	2.98%
29	岐阜	54,493	1,483	2.72%
30	群馬	50,841	1,309	2.57%
31	北海道	122,743	3,022	2.46%
32	栃木	51,170	1,251	2.44%
33	宮城	58,748	1,364	2.32%
34	大分	29,624	680	2.30%
35	徳島	17,432	391	2.24%
36	鳥取	14,316	321	2.24%
37	福井	21,196	435	2.05%
38	青森	29,940	566	1.89%
39	長野	55,189	974	1.76%
40	福島	46,148	729	1.58%
41	島根	17,040	231	1.36%
42	石川	30,336	383	1.26%
43	新潟	53,722	630	1.17%
44	富山	26,146	246	0.94%
45	岩手	30,269	247	0.82%
46	秋田	21,924	-	0.00%
47	山形	26,969	-	0.00%
	全国	3,229,707	245,249	7.59%

(高校)

	都道府県	全体	私立	私立/全体
1	東京	301,715	171,745	56.92%
2	京都	66,457	31,706	47.71%
3	大阪	207,266	91,397	44.10%
4	福岡	123,508	52,453	42.47%
5	熊本	44,285	16,598	37.48%
6	神奈川	195,931	69,229	35.33%
7	鹿児島	43,029	15,198	35.32%
8	静岡	91,613	31,599	34.49%
9	広島	68,044	23,196	34.09%
10	千葉	141,359	47,053	33.29%
11	長崎	34,415	11,358	33.00%
12	山形	27,233	8,964	32.92%
13	愛知	185,920	60,216	32.39%
14	埼玉	163,986	52,900	32.26%
15	岡山	49,501	15,893	32.11%
16	宮崎	28,856	9,028	31.29%
17	山口	30,984	9,674	31.22%
18	大分	29,300	9,081	30.99%
19	福井	20,701	6,400	30.92%
20	高知	17,140	5,297	30.90%
21	奈良	32,528	9,921	30.50%
22	栃木	49,674	14,837	29.87%
23	石川	29,765	8,700	29.23%
24	宮城	55,329	16,035	28.98%
25	山梨	22,717	6,449	28.39%
26	茨城	71,842	20,273	28.22%
27	北海道	115,335	30,118	26.11%
28	佐賀	22,422	5,835	26.02%
29	青森	30,543	7,943	26.01%
30	群馬	48,521	12,579	25.92%
31	愛媛	31,473	8,124	25.81%
32	兵庫	128,297	32,601	25.41%
33	鳥取	14,321	3,595	25.10%
34	香川	24,657	6,189	25.10%
35	新潟	51,594	12,797	24.80%
36	福島	45,648	10,354	22.68%
37	三重	44,229	9,991	22.59%
38	滋賀	36,673	8,110	22.11%
39	島根	17,145	3,762	21.94%
40	岐阜	50,563	10,952	21.66%
41	岩手	29,980	6,485	21.63%
42	富山	26,068	5,507	21.13%
43	長野	52,632	10,268	19.51%
44	和歌山	23,349	4,482	19.20%
45	秋田	21,448	2,084	9.72%
46	沖縄	43,221	2,926	6.77%
47	徳島	16,965	736	4.34%
	全国	3,008,182	1,010,638	33.60%

私立学校の振興に向けた取組

(現状・課題①)

私立学校は、近年の少子化に伴う児童生徒数の減少などにより経営環境が厳しい状況にある中、それぞれの建学の精神に基づき、多様化するニーズに応じた個性豊かな教育活動を積極的に展開しており、本県教育の発展に重要な役割を果たしています。

(対策のポイント) 私立学校の教育環境の充実を図ります。

(※ 第2期教育等の振興に関する施策の大綱 基本方針VI-2 私立学校の振興 から抜粋)

■私立学校運営費補助金について (R3 予算額: 3, 168百万円)

【R3の順位】(予算ベース)

- ◆高校生 全国 14 位 (367,711 円/人) 全国平均: 358,072 円/人
→うち県単上乗せ 1 人当たり 22,882 円
- ◆中学生 全国 5 位 (344,017 円/人) 全国平均: 328,312 円/人
→うち県単上乗せは 1 人当たり 6,864 円

(現状・課題②)

公立・私立を問わず全ての児童生徒が、家庭の経済状況にかかわらず、安心して教育を受けることができるよう、経済的に厳しい家庭の教育費負担の軽減を図ることが必要

(対策のポイント) 経済的に厳しい家庭の児童生徒の修学機会を確保します。

(※ 第2期教育等の振興に関する施策の大綱 基本方針VI-2 私立学校の振興 から抜粋)

■高等学校等就学支援金交付金 (R3 予算額: 1, 045百万円) ※ 別添参考資料参照

- ・国において、令和2年度から、私立高校等に通う年収 590 万円未満世帯の生徒等を対象に就学支援金の支給上限額を、私立高校の平均授業料を勘案した水準(年額 396, 000 円)まで引き上げ (私立高等学校授業料の実質無償化)

■私立学校授業料減免補助金 (R3 予算額: 80百万円 (高校分のみ) ※ 別添参考資料参照

- ・減免補助制度を実施する学校に対して助成
- ・高校生においては、年収が 350 万円未満程度の対象世帯においては、授業料における家庭の負担が不要となっている。また、私立高等学校授業料の実質無償化に伴い、就学支援金の加算なし世帯のうち、年収が 590 万円以上 700 万円未満程度の対象世帯に対して、県内私立高等学校の平均授業料の半額を上限とした減免措置を追加 (県補助率 10/10)

背景

国において、令和2年度から、私立高校等に通う年収590万円未満の世帯の生徒等を対象に、**就学支援金の支給上限額を、私立高校の平均授業料を勘案した水準（39万6千円）まで引き上げ**

授業料が就学支援金の支給上限額を超える学校では保護者負担が生じるため、**年収350万円未満世帯についての県独自の減免補助制度の継続が必要**
 年収590万円を境に就学支援金の引き上げの有無により、保護者の負担に大きな差が生じるため、**年収590万円以上の世帯についても一定の支援が必要**

事業内容

高等学校等就学支援金交付金（R3）

【R3予算額：1,045,229千円

（一）9,572千円（国）1,035,657千円】

国において、R2年度から私立高校等に通う年収590万円未満世帯の生徒等を対象に、就学支援金の支給上限額を年額396,000円まで引き上げ

私立学校授業料減免補助金（R3）

【R3予算額（高校分のみ）：80,210千円

（一）75,890千円（国）2,160千円（入）2,160千円】

国の就学支援金制度を考慮し、私立高校等に通う生徒等に対して、以下の授業料等の軽減措置を行った学校法人に対し、軽減措置分を補助する。

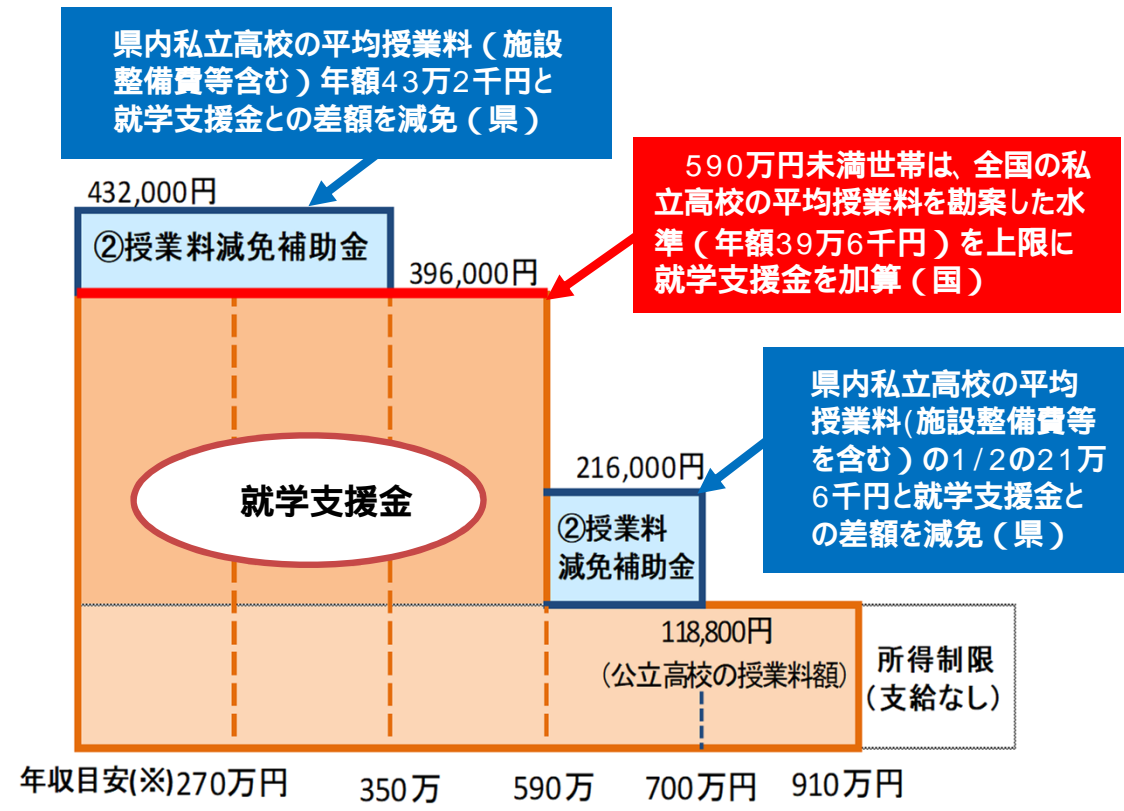
年収350万円未満世帯の生徒等で、「授業料＋施設整備費等」と就学支援金との差額がある場合に、県内の平均授業料相当額（施設整備費等を含む）年額432,000円を上限に、就学支援金との差額を減免

年収590万円以上700万円未満世帯の生徒等で、県内私立高校等の平均年間授業料相当額432,000円の1/2となる216,000円と就学支援金との差額を減免

< 本県で の対象となる私立学校種 >

高等学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程

< 事業のイメージ >



年収700万円未満世帯が加算対象となる（県内私立高校生の52%、約2,750人）

（ ）年収は両親のうちどちらか一方が働き、高校生1人（16歳以上）、中学生1人の4人世帯の目安

県教育委員会・公立学校と私立学校の連携状況〔現在までの主な取組〕

① 大会等における生徒の交流及び企画運営

(例) 高知県高校生津波サミット実践委員としての活動、サミットでの交流活動
令和4年度全国高等学校総合体育大会の補助員として活動予定
全国高等学校総合文化祭「2020こうち総文」実行委員会の活動
産業教育研究会看護部会総会 技術競技会の企画運営（教員）

国際教育生徒研究発表大会での交流
科学の甲子園ジュニア高知県大会（中学生）での交流
科学の甲子園高知県大会（高校生）での交流
高知県高等学校定時制通信制生活体験発表会での交流
部活動における交流

等

② 教職員研修等への参加

(例) ICT支援員資質向上研修
防災教育研修会
高知県高等学校教育課程研究協議会
高等学校における通級による指導研究協議会
「若者の学び直しと自立支援事業」地区別連絡会
中学校体育主任研修会、高等学校体育主任研修会
学校保健推進研修会（養護教諭研修会）
生徒指導主事会、人権教育主任連絡協議会
教育センターの初任者研修及び専門研修
心の教育センターの専門研修



等

③ 児童生徒への相談支援

(例) 相談カード、相談チラシの配付
心の教育センター来所相談、電話相談、メール相談、LINE相談
「SNS等を活用した相談事業」における相談支援
特別な支援を必要とする児童生徒への巡回相談を実施



等

④ 指導主事・専門職による支援

*SC = スクールカウンセラー

(例) 私立学校人権教育主任等研修会の講師として指導主事を派遣
校内支援会へ心の教育センターの指導主事やSC*を派遣
オーテピア高知図書館の司書による学校図書館巡回訪問

等

⑤ 教材等の共有

(例) 県教委が作成した副読本等の配付
・防災教育副読本、高校生のための防災ハンドブック
・道徳教育副読本の電子データ提供（私学・大学支援課より副読本を配付）
・高知県郷土史副読本「中高生が学ぶふるさと高知の歴史」

教職員向け資料の配付

・第2期教育大綱・第3期教育振興基本計画（改訂版）概要版
・高知県安全教育プログラム、プログラムに基づく安全教育参考資料
・性に関する指導の手引き（改訂版）
・人権教育指導資料、「高知家」いじめ予防等プログラム

等

等